

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 1		
5 番	山 崎 ふじ子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 復興庁が配布した「ALPS処理水について知ってほしい3つのこと」のチラシについて	<p>このチラシは復興庁が12月に全国の小・中・高・特別支援学級の1学年に放射線副読本と同梱で送られたものである。「誤った情報に惑わされないために」としながら、国の方針に沿った一方的な内容になっている。</p> <p>1) 三春の各学校に届いているのか。</p> <p>2) 教育委員会はこのチラシが送られてきたことを把握できたのか。</p> <p>3) このチラシを児童生徒に配布した町の学校はあるのか。</p>	
2 社会教育用の町バスについて	<p>1) 町には社会教育用に使用できるバスはあるのか。</p> <p>2) どのような団体に貸し出しているのか。また、利用基準はどのようになっているのか。</p> <p>3) 例年の貸出件数は何件か。</p>	
3 パートナーシップ制度を導入できないか	<p>1) パートナーシップ制度とは同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQカップルに対して「婚姻に相当する関係」とする証明書を発行する制度である。三春町でも導入すべきではないか。</p>	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 2		
4 番	新 田 信 二 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 SDGsを活用した持続可能な社会づくりの為の町の取組みについて	<p>2015年9月に国連サミットでSDGsが採択され2030年までの国際的な目標として17個の持続可能な社会を実現する為、世界が取り組んでいるところであります。</p> <p>安全な社会を次世代に繋げて行くため、達成すべき17個の目標に、付随する169のターゲットと232の指標を掲げています。</p> <p>県でもふくしまSDGsを活用した取り組みを進め、積極的に情報発信をしています。</p> <p>そこで、町としてSDGsの推進に向けて、どのように取り組みを進めるのか伺います。</p>	
2 今後の地域の仕組みづくりについて	<p>町は、行政と地区の情報共有体制を今後強化する為の「町民が行政運営に適切に参加できる仕組みづくり」を提案しています。</p> <p>人口減少、少子高齢化を背景に、地域で安心安全にあたりまえに暮らすことに、年々課題難題が増加傾向となってくることと思われます。</p> <p>現在、町内に7ヶ所の地区まちづくり協会を中心に、各区長さん方々と地域の様々な課題解決にご尽力を頂いているところであります。</p> <p>コロナ禍も含め、年々社会も環境も変化する時代の中で、今後地区の地域づくりに対して、あらためて町の考え方を伺いたいと思います。</p>	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 3		
12番	橋本善一郎 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 屋根付き多目的グラウンド設置について	<p>三春町体育協会に加盟している団体に対して屋内施設が少なく、冬季になると更に使用団体が増え使用できない状態が発生している。特に野外活動が中心となる、スポーツ少年団の軟式野球、テニス、アーチェリー等の練習、試合なども気象に影響され十分な練習ができない状態にある。</p> <p>特に、少子高齢化の中、子供たちがスポーツを通してコミュニケーションを図る場としては大事な場ではないでしょうか。アーチェリーの競技においても、雨の中でも行われているとのことですが、町内外から来る子供たちの健康の面からも環境を整えてあげるべきではないかと考えます。</p> <p>また、会社勤務の団員が多い中、限られた時間内で行われる消防ポンプ操法の練習、災害時の避難場所等にも活用できることなどから設置すべきものと考えます。構造的にも周りが柱で、屋根があるだけの簡単な構造なので消火器設置や照明器具も必要としないので安価にできるものと考えます。</p> <p>1) 三春町においては、屋根付き多目的グラウンドの設置の考えはあるかお伺いいたします。</p>	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 4		備 考
6 番 鈴木利一議員		
質問事項	質 問 要 旨	
1 中郷おでかけ応援隊について	1) 今年度から中郷地区で始まった、地区の移動支援「おでかけ応援隊」の利用者やボランティアの方々の感想や要望はどの様になっているか伺いたい。 2) 他地区において「おでかけ応援隊」の考え方を伺いたい。	
2 こども食堂について	1) 昨年から町内の企業が、ボランティアで「こども食堂」を始めましたが、町として詳細を把握しているか伺いたい。 2) こども食堂を継続するために、町としてどの様に関わりを持っていくのか伺いたい。	
3 第6期三春町障がい福祉計画について	この計画は令和5年度末を目標として、福祉施設に入所している障がい者について、グループホームや一人暮らしなど、地域生活への移行、福祉施設利用者の一般就労への移行を推進しようとするものです。 1) 福祉施設から地域生活への移行について現在の進捗状況はどのようになっているか伺いたい。 2) まちづくり協会等との地域包括システムの構築は進んでいるか伺いたい。 3) 相談支援事業所の拡充で一事業所を追加指定できるようにしたいとしているが、現状はどのようになっているか伺いたい。	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 5		
10番	篠崎 聡 議員	備考
質問事項	質問要旨	
<p>1 防災少年団（DPS）を（Disaster Prevention Boy Scouts）</p>	<p>三春町の消防防災活動に消防団の存在は欠かせないところですが年々なり手が減少しており、令和2年の充足率は89%と記憶しています。今後も消防団員の数が増えるとは思えません。子供の頃から消防防災に興味を持ってもらい消防団員の減少を抑制するため三春町にも消防少年団（FBS）のようなものがあつたら良いなと思っております。</p> <p>1）令和3年度の三春町消防団の充足率は何%ですか。</p> <p>2）他所の自治体では将来の消防団の担い手として高校生まで所属できる消防少年団があるところがありますが三春町ではありません。何か理由はありますか。</p> <p>3）災害の種類や規模が多様化している今、子供に消防少年団という名称は少し古臭い気がしますので、世界で活躍する防弾少年団（BTS）にあやかって防災少年団（DPS）を全国に先駆けて発足してみたいかと思いますがどうか。総務省消防庁や日本防火・防災協会の協力や他の自治体の消防少年団の活動状況を参考にすれば条例改正や活動に必要な資料や予算の算出については大きな障害にならないと思っておりますがいかがですか。</p> <p>4）防災少年団が発足すれば、地区自主防災会の下部組織として地域の自主防災活動のボランティアとして自主防災会をサポートできると思っておりますがいかがですか。</p>	
<p>2 消防団の出動手当は</p>	<p>1）消防団の出動などで支払われる手当ですが、今は分団、部または班ごとに出動した人数分町役場から支払われています。昨今の消防団の活動を見るとコロナ禍ということで分団や部、班での活動が減少し団員の活動も減少しています。そんな中、他の市町村では出動した団員本人に手当を支給している自治体が増えてきています。手当の性質上個人に手当を支給するのがよろしいかと思っております。町の見解を伺います。</p>	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 6		
9 番	松 村 妙 子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 不妊治療の 保険適用につ いて	<p>1) 不妊治療、これまでも一部保険適用されていましたが、本年4月から公的保険の適用対象となる主な不妊治療とは何か。</p> <p>2) 不妊治療事業における申請状況と実績について</p> <p>3) 今後、助成制度がなくなり保険が適用されない治療について、自己負担が増加するおそれがあると心配する声がありますがいかがでしょうか。</p>	
2 新型コロナ ウイルス感染 について	<p>1) 新型コロナウイルス感染症患者の町内発生状況について</p> <p>2) コロナに感染した患者さんの中で後遺症についての報告があるのか。</p> <p>3) 新型コロナに感染した町内の自宅療養または濃厚接触者に対して生活支援の実施をしてはどうか。</p>	

令和4年定例会3月会議一般質問

No. 7		
8 番	三 瓶 文 博 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 (株)モンベルとの連携・モンベルストアの誘致について	1) 商工業者とは、どのような関わり合いを持ちながら今後進めていくのか。 2) アウトドアで必要とされる食材等について農産物の地産地消についてどのように考えているか。 3) さくら湖の湖面等を利用するにあたり管理者である国交省との話し合いをどのように進めていくのか。	
2 滝桜100周年記念後の第一歩について	今年は滝桜100周年の記念の様々な事業が展開される予定ですが、その後の滝桜の保存、観光について町はどのように考えているのか。	